

オーストラリア国際研修Ⅰ・Ⅱ 参加体験記 (2022年度参加学生 理科二類 岡田真穂)

Go Global Gateway キャンベラ・シドニーウィンタープログラム (オーストラリア国際研修Ⅰ:地球惑星環境学国際研修Ⅰ) は、2月13日から22日までの10日間オーストラリアのキャンベラとシドニーに滞在し、講義受講や研究所見学、自然保護区や博物館の訪問を行いました。理学部の地球惑星環境学国際研修と合同で実施されたプログラムなので、Go Global Gateway からの参加学生と理学部所属の学生で構成されていました。

キャンベラではANU(オーストラリア国立大学)での活動がメインでした。講義内容は主に過去の気候や古環境に関するものでしたが、南極の氷床や人工衛星による重力測定、サンゴ礁などさまざまな切り口からのアプローチがあるとわかり、非常に興味深かったです。年代測定で用いられる加速器やICP-MSなどの質量分析器も見学しました。地球科学に関する専門的な知識を持ち合わせていなかったため、講義内容や実験機器に関する理解が難しかったこともありましたが、参加学生と教員やTAの方との距離が近いのでわからなかった部分について日本語で質問して疑問を解決することができました。ANUの学生との交流の時間もあり、自由に楽しく互いのバックグラウンドなどについて交流できました。

Tidbinbillaと呼ばれる自然保護区ではコアラやカンガルーなどのオーストラリアらしい動物を間近で見ることができ、彼らの愛くるしさに癒されました。また、先住民の人々の生活の営みについてお話を伺うこともでき、その生活に思いを馳せることができました。普通に街を歩いていても、日本では見かけたことのない鳥を見ることができたり、植生の違いがあったりして発見だらけの日々でした。また、国会議事堂近くで露出していた地層は壮大で褶曲や断層の様子が見やすく、大陸ならではの地形だと感じました。



キャンベラは比較的治安が良いこともあり、平日の夕方以降や土日はキャンベラを学生だけで自由に行動しました。オーストラリアの食文化は思っていた以上に多様で、晩ご飯はアジア料理、イタリアン、アメリカン、地中海料理など本当に多様な食事を楽しめました。スーパーに行ったり、街で開催されていたフェスティバルに参加したりする中で、街の雰囲気を肌で感じることができ、ただの観光ではわからないような「キャンベラでの日常」のようなものを垣間見ることができたと思います。土日の自由行動では国会議事堂や造幣局、戦争記念館などを訪れました。どの施設でも、イギリスとのつながりを感じ

じて、現代というのも歴史の延長線上にあるのに過ぎないのだということを実感しました。

シドニーではシドニー大学とマッコリー大学、海洋研究所などを訪れました。ANUは自然がたくさんあるキャンパスで学習に集中しやすい環境だと感じた一方、シドニー大学の建物はいかにも大学らしい威厳のあるつくりで、雰囲気は都会らしさに溢れていました。シドニーでは自由時間は少なかったですが、オペラハウスやハーバーブリッジなどを見ることができた上に、歴史ある建物と現代的な建物が混在した街並みの中を散歩したりもできました。キャンベラとシドニーの2都市を訪れることによって、両者を相対化してさまざまなことを感じられて良かったと思っています。



この研修を通じて、オーストラリアの自然や文化について生で貴重な体験をすることによって、自分なりに今までの常識を相対化する視点を獲得できたのではないかと思います。また、想像していた以上に至るところで「多様性」に溢れており、アジア人であるという疎外感をほとんど感じることのない10日間でした。さまざまな講義に触れることで自分の視野も広がり、前期教養の学生にとっては進振り前に自分の興味について改めてじっくり考える良い機会にもなると思います。

ANUの学生が日本に来て東北地方や富士山周辺を訪れて、主に津波や火山について学ぶ国際研修(地球惑星環境学国際研修Ⅱ)も9月に行われています。私は2022年の9月に参加しましたが、海外の学生の目には日本がどう映っているのか知る良い機会になるとともに、日本の文化や歴史について自信を持って語れないということが突きつけられました。また、海外の学生と寝食を共にする行程になっているため、精神的負荷は高いと思いますが、語学力が鍛えられる上に、長い時間ともに過ごしたからこそその友情が芽生えます。実際、今回のオーストラリア滞在の間に9月に日本に来ていた何人かのANU生と交流することができ、思い出話などに花を咲かせました。

両プログラムに共通して言えることですが、参加前には語学力や理学系の専門知識の不足、コミュニケーションなどに関して不安を感じていましたが、実際に参加してみると教員の方やTAの方が必要な時に手を差し伸べてくださるので、なんとかなるものです。それよりも参加することによってしか得られない貴重な何かがあり、あるはずなので迷ったら、参加してみよう!ぐらいいい気持ちで飛び込んでみると良いのではないかと思います。